

神道政治連盟愛知県本部総会 開催



神道政治連盟愛知県本部では、11月22日、熱田神宮会館にて年次総会を開催し、県内神社関係者並びに議員など総勢296名が参加しました。

開会に先立ち神宮遥拝、国歌斉唱、神政連宣言綱領唱和の後、神道政治連盟愛知県本部服部憲明会長が挨拶され、自主憲法の制定に向けての道筋とともに、今後の活動にもより一層力を尽くしていかなばならないと強調され、今後とも倍旧の支援を賜りたいと述べられました。

この後、神道政治連盟中央本部会長の挨拶では打田文博会長が、自主憲法制定にはこれからが正念場となることに触れ、我が国の憲法には様々な問題がありますが、国民の手によって改正の作業に移らねばならず、そのための協力をお願いしたいと述べられました。なお、来賓として、打田会長、小串庁長を始め、県内選出の国会議員秘書他、県議会議員など数多くの方々が参会されました。

引き続いての講演では、日本政策研究センター代表 伊藤哲夫先生が「なぜ憲法改正が必要か」との演題にて講演され、他国の憲法を憲法前文について比較し、国家自立への意志がどれ程大切に扱われているかを示された上で、日本の憲法にはそれが謳われていないことが最も不足している部分であると強調され、国家なくして人民はありえない、国を全力で守ることが何より大事であると結ばれました。その後、聖寿万歳三唱により本会は閉会となりました。



◀ 服部会長挨拶



◀ 伊藤先生講演